

# トーク & トーク B

## 「ディスカバリー・ツールを斬る！

～今後の情報探索の切り札になるか～」

10月19日(金) 10:00～12:30 (B会場)

Web 検索が浸透し、ビッグデータの時代を迎えた現代において、情報洪水の中から必要な情報だけを効率よく取り出すことがインフォプロとして必要なスキルのひとつです。大学その他の学術図書館では研究情報の探索にあたり、広範囲の情報ソースからあらかじめ指定したデータに対して検索用に処理したインデックスを付与し、なるべく多くの情報資源をスピーディーに web 検索するディスカバリー・サービスが注目されています。

その一方で、従来から行われている横断検索に比べると、データの更新頻度の限界から速報性が犠牲になるのではないかと、大量の検索結果から利用者が本当に必要な文献に辿り着けているのか、などその効果に疑問も残ります。

今回のトーク&トーク B では、実際の製品提供ベンダーと利用機関の経験をもとにした話題提供を通じて、ディスカバリー・ツールの現状をメリット/デメリットの両面からとらえます。大学図書館に限らず企業の研究開発も念頭に今後の情報探索において有効なツールとなり得るのかを議論する機会とし、参加者それぞれのお立場に沿って情報探索の新たな価値を発見していく場を提供したいと考えています。

話題提供者と話題 (予定)(50音順)

### ディスカバリー・サービス導入機関

Discovery Service 安東 正玄 氏 (立命館大学図書館)

・導入の経緯、稼働までの課題、サービス開始後の利用者の反応、システムに関する評価など

### ディスカバリー・サービス提供ベンダー①

ExLibris 平野 覚 氏 (ユサコ株式会社 ソリューションビジネスグループ)

・製品の特長、導入効果、課題や今後の開発計画、次世代 OPAC との関係、世界的な導入状況など

### ディスカバリー・サービス提供ベンダー②

Summon 長谷川智史 氏、馬淵沙織 氏 (株式会社サンメディア)

・製品の特長、導入効果、課題や今後の開発計画、次世代 OPAC との関係、世界的な導入状況など

### コーディネーター

林 和弘 氏 (科学技術政策研究所 (NISTEP))

増田 豊 氏 (ユサコ株式会社)

田辺 祐子 氏 (シュプリング・ジャパン株式会社)